

⑪ リチウムイオン電池を含む電子機器による発火防止のための各主体で求められる取り組み

リチウムイオン電池の発火対策として、当協会が考える各主体の取り組み事例は以下のとおりです。

主体	実施していること	今後、実施が期待されること
容り協会	<ul style="list-style-type: none"> 市町村、市民への普及啓発 国、電池団体、各リサイクル団体、関連団体との意見交換・情報共有 発火物混入防止の効果的な啓発、除去方法の調査と全国市町村への周知・普及 出前講座、各種イベント等での普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 発火物混入低減で効果をあげている市町村啓発事例を全国に情報提供 発火物除去で効果をあげている市町村中間処理施設の事例を全国に情報提供 市町村関係者、産業廃棄物関係者など、現場の火災被害者との連携強化、連携した活動実施（※上記3項目は実施いたします。）
市町村	<ul style="list-style-type: none"> ポスター、チラシ、動画等を活用した市民への普及啓発 収集運搬事業者、中間処理事業者との情報共有・連携 廃棄物減量等推進員の活用 小学生等の環境学習カリキュラムへの本テーマの導入 	<ul style="list-style-type: none"> 小型充電式電池の一般廃棄物としての分別収集と JBRC 等への引き渡しの促進 小型家電リサイクル回収量の増加に向けた回収場所の拡大、回収方法の多様化 日本たばこ協会が行う加熱式たばこ自主回収への協力
市町村の中間処理施設	<ul style="list-style-type: none"> 発火物の除去 防火対策 発火物の展示等による見学者への啓発 市町村、容り協会、再生処理事業者への情報提供の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 確実な除去のための設備投資 市町村との定期的情報・意見交換の実施
再生処理事業者	<ul style="list-style-type: none"> 発火物の除去 発火発煙の検知、適切な消火 	<ul style="list-style-type: none"> 発火物除去のための設備投資 発火発煙検知器の導入
リチウムイオン電池製造メーカー	<ul style="list-style-type: none"> JBRC を通じた回収 一般廃棄物ルート、産業廃棄物回収ルートによる多様な回収を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄時の注意点を市民啓発
小型家電製造メーカー（リチウムイオン電池利用メーカー）	<ul style="list-style-type: none"> リチウムイオン電池リサイクルマークの本体表示（国内メーカー主体） 	<ul style="list-style-type: none"> 市民が明確に認識できる識別表示の商品本体への表示（海外メーカーを含む） 商品本体や取扱説明書に廃棄時の注意点（危険性）を明確に表示
小売店	<ul style="list-style-type: none"> JBRC 回収 BOX の設置 	<ul style="list-style-type: none"> リチウムイオン電池内蔵製品の販売時に廃棄時の注意点を啓発 JBRC 回収 BOX を市民が分かりやすい場所・見えやすい場所に設置
国	<ul style="list-style-type: none"> 関連団体、関連企業への協力要請 小型家電リサイクル法における、リチウムイオン電池を含む電子機器の回収量増加策 各都道府県・市町村への事務連絡等での啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 資源有効利用促進法におけるリチウムイオン電池の回収目標の見直し（再資源化率→回収率） リチウムイオン電池製造・利用メーカーへの識別表示指導
消費者	<ul style="list-style-type: none"> お住まいの市町村ルールに従った分別排出 	

※上記に記載した事項は、あくまで当協会の案であり、実施が予定されていない事項も含まれております。